



平 3 0 総 第 5 2 2 号

平 成 3 0 年 6 月 2 2 日

防衛大臣 小野寺 五典 様

秋田市長 穂 積



イージス・アショアに係る質問事項について

防衛省から、弾道ミサイル防衛システム「イージス・アショア」の配備候補地として、本市の陸上自衛隊新屋演習場を選定したとの説明がありました。

しかしながら、新屋演習場は文教施設や住宅地に隣接しており、演習場近隣の地元住民をはじめ多くの市民から、電磁波等による健康被害や日常生活への支障が心配される、また、破壊行為やテロの標的、有事の際の攻撃対象にされるのではないかとといった、不安、懸念の声が挙がっています。

先に、住民説明会の早期開催について申入れをし、今月14日には市議会、17日には近隣住民への説明が実施されたところではありますが、いささかも不安や懸念は払拭されておりません。

つきましては、別紙のとおり本市の質問事項を提出しますので、速やかに回答をお願いします。

イージス・アショアに係る質問事項について

1 イージス・アショアの必要性について

- (1) 朝鮮半島をめぐる諸情勢が変化する中、イージス・アショアの配備は必要なのか。国際情勢の変化に応じて配備計画を見直すべきではないか。
- (2) イージス・アショアの導入によって、北朝鮮の脅威に対応できるようになるのか。
- (3) ハワイにおける実験で3回中2回迎撃できなかったが、信頼性はあるのか。
- (4) イージス・アショアを導入しても、専守防衛は堅持されるのか。
- (5) イージス・アショアの導入によって、海上自衛隊の負担軽減を図る上での効果はどのようなものなのか。
- (6) イージス・アショアの導入について、中国やロシアは両国への包囲網構築の一環などと反発をしているが、その受け止めはどうか。

2 配備候補地の合理性について

- (1) 新屋演習場を最適候補地として選定するに当たり、4つの観点を挙げているが、改めて選定過程の詳細や具体的根拠を公表すべきではないか。
- (2) 他の配備地は、住民への影響が懸念されるため住宅密集地から離れているのではないか。配備候補地の選定に当たり、文教施設や住宅地に隣接している新屋演習場は候補地に適さないという判断はなされなかったのか。最適候補地とする合理的な理由はあるのか。
- (3) この基準に当てはまる候補地は、当該地と山口県むつみ演習場の他にないのか。他に選択肢はないのか。
- (4) 適地調査の結果、配備候補地として不適であった場合は、候補地を変更するのか。
- (5) 北朝鮮からの脅威は米朝会談により当面は和らぐことになるが、それでも可及的速やかに配備に向けて急がなければならないのか。半年から1年をかけて適地となる公共用地について、代替地を検討すべきではないか。
- (6) 現時点では、配備の最終候補地ではないということによいか。
- (7) 住民の理解が得られない中で、配備を強行することはないか。

3 日常生活への影響等について

- (1) イージス・アショアの装備等による電磁波は、人体に影響を及ぼさないのか。影響はあるが、遮蔽や運用により影響を回避するという理解によいか。
- (2) 短期間だけでなく、長期間にわたる電磁波による影響について、科学的データに基づく安全性の検証が必要ではないか。
- (3) どのような電磁波対策を取ることを考えているのか。

- (4) 電磁波等による住民の健康や日常生活への影響調査は、配備後に実施するのではなく、適地調査の中で徹底的に調査し、その内容を公表すべきと考えるがどうか。
- (5) ハワイやルーマニアのイーグリス・アショア周辺施設の住民や、海上自衛隊のイーグリス艦の乗組員に健康被害はないのか。
- (6) 住民の健康や生活に支障があることが判明すれば配備はしないのか。
- (7) ルーマニアでは、イーグリス・アショア施設周辺の住民への影響をなくすために必要な対策が取られているとのことだが、どのような対策を取っているのか。
- (8) 電磁波の影響により、ドクターヘリや民間航空機、緊急車両、テレビ放送などに支障が出ることはないのか。支障は出るが、遮蔽や運用で最低限の支障にとどめる考えなのか。
- (9) 風力発電設備が候補地の周辺に設置されているが、電磁波の影響を受けるのではないのか。制限されることはあるのか。
- (10) イーグリス・アショアを設置すると、武装作業員などによる破壊行為やテロの標的にされるのではないのか。また、有事にあたっては攻撃対象にされるのではないのか。住民の日常生活に影響を与えずに十分な警備ができるのか。
- (11) イーグリス・アショアは新屋演習場の面積に収まるのか。他施設の移転を伴うことはないのか。

4 今後のスケジュールについて

- (1) 調査実施から導入までのスケジュールはどうか。
- (2) 地盤調査や電波環境等に係る調査業務の内容は、調査実施前に公表すべきと考えるがどうか。調査後、その結果を公表すべきと考えるがどうか。
- (3) 調査に係る予算執行を考慮すると、年度内に調査は完了するのか。

5 住民説明会の開催について

- (1) 住民の不安を払拭するため、今後も国の責任において、近隣地区住民を対象に当該地区での説明会を開催できないのか。また、対象を絞らない説明会を開催し、繰り返し具体的かつ合理的な説明をしていくべきではないか。
- (2) 地元でどのような理解を求めるのか。何をもちて地元の理解を得たと判断するのか。
- (3) 国の事業を国が実施するのであるから、防衛省自らが住民説明会をスムーズに行うための組織を設け、主体的に責任を持って説明を尽くしていくべきではないか。

6 その他

- (1) イーグリス・アショアの配備による初期投資（公共工事等）はどの程度か。
- (2) イーグリス・アショア運用開始後の居住隊員数等はどの程度を想定しているのか。